

1. 第18回OB会総会

OB会総会が4月8日（木）日本青年館で71名の会員が参加して開催された。伊藤幸郎理事の司会で始まり、この1年間に逝去された9名のOBに黙祷が捧げられた。大谷会長より以下の挨拶があった。昨年、日本国土開発会社は更生計画を終結され再出発し、業績向上に全社総力を挙げ、格段に財務体質の強い会社となったと承っている。現役諸兄の努力を賞賛し、新たな創業を祝う。今後に期待してゆきたい。本日は同じ釜の飯を食ったすばらしい仲間とすばらしい仕事をした誇りを実感していただきたい。

昨年は、更生計画前後に退社された仲間400人にOB会加入の案内をしたが、今後もこの呼びかけを続けるので、皆さんも是非勧誘をお願いしたい。皆様のご指導ご支援のもとOB会が順調に推移するように全力をあげて行いたいのでよろしくお願いしたい、

会務報告では、昨年11月の新規入会者募集により37名の入会者を迎えたことが発表され、当日出席された10名の新規入会OBが起立し、紹介がされた。

会社現況報告は川村取締役経営企画室長より母社の74期（平成15年5月期）の業務実績が資料により説明された。

続いて開かれた懇親会では、来賓として坂上社長ほか10名の役員のご出席を頂いた。坂上社長からは、厳しい業界の中で生き残る課題として、新しい技術開発を柱に頑張ること、新しい分野、新しいお得意様の開発を全社員で取り組んで行く、との大変力強いお言葉を頂き、われわれOBとしても非常に心強く思い、益々の発展を祈念した。懇親会場には総会出欠返信ハガキが展示され、当日出席できなかったOB諸兄の近況も読むことが出来た。

総会開催にあたっては、母社の村田総務部長をはじめ大勢の皆さんにご協力を頂き役員一同感謝した。